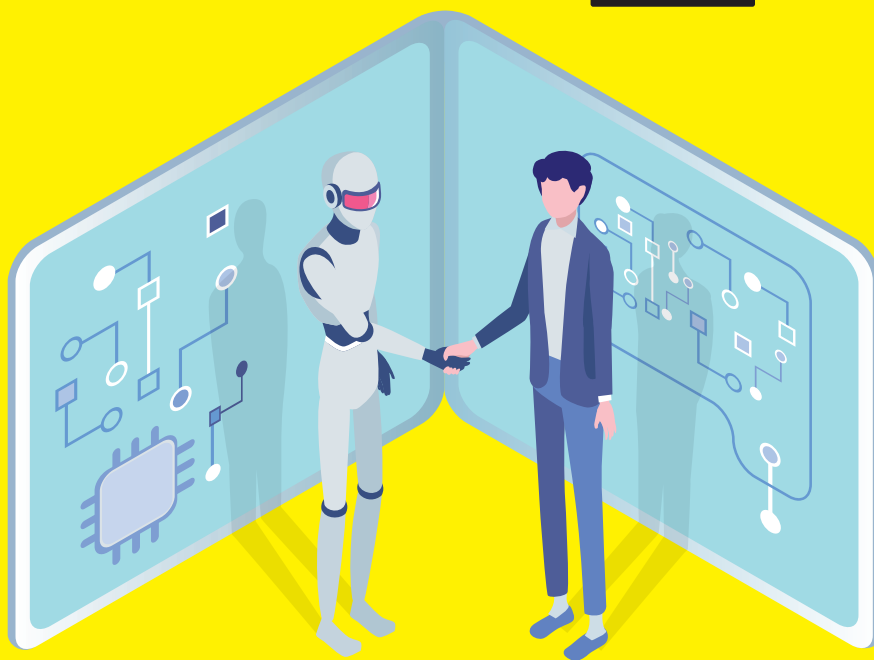


AICHI ROBOT ARX TRANSFORMATION

サービスロボット
“ミライ”
情報マガジン

Vol.1

2022



つながる 気づく 動き出す

愛知県サービスロボット社会実装推進事業は、人とロボットが協働し、ともに豊かな未来の実現を目指します。



実証実験

商業施設や病院等で実証実験を行い、ロボット導入の効果を検証することで実用化を促進します。また、実証実験の様子を公開することで、成果を社会で共有します。

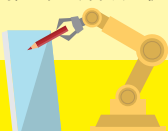
デモンストレーション

実用化段階を迎えたロボットを広く社会に紹介することで、「新しい生活様式」で活躍するロボットへの理解を深め、普及の促進を図ります。



マッチング

ロボットの導入を目指すユーザー施設とロボットメーカーやプロバイダーとのマッチング機会を創出します。



主催: **愛知県**

詳しくは右記公式ウェブまたはQRコードからアクセス

公式ウェブ <https://aichirx.jp>



サービスロボット社会実装推進事業 「AICHI ROBOT TRANSFORMATION 2022」実施にあたって

愛知県では、サービスロボットの社会実装を促進するため、県内の様々な施設において、サービスロボットの実証実験を実施し、愛知県の先端的な社会の姿を県内外に発信していくサービスロボット社会実装推進事業「あいちロボットランスフォーメーション（ARX）」を実施します。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策にも資する「案内」や「警備」「清掃・消毒」「搬送・配膳」など、計26機の最先端サービスロボットが集結。2022年12月17日の豊田スタジアムを皮切りに、藤田医科大学病院、アーバンネット名古屋ネクスタビル、イオンモール常滑の計4か所において、それぞれの施設の現場ニーズに即した実証実験を行います。

こうした取り組みを通じまして、県民の皆様の暮らしに役立ち、また、コロナ禍で活躍するロボットの普及や、本県におけるロボット産業の更なる振興を図ってまいります。

2022年12月 愛知県知事 大村秀章



ABOUT AICHI ROBOT TRANSFORMATION 2022

愛知県が2019年度から2年間にわたり取り組んできた「あいちロボットショーケース」。

With/afterコロナの「新しい生活様式」により高まったサービスロボットへの期待を一過性のものとせず、

生活の様々なシーンでロボットとの協働により社会を変革（トランスフォーメーション）させるべく、

AICHI ROBOT TRANSFORMATIONとして、様々な施設でのロボット活用の好事例をものづくり王国・愛知から発信します。

2022年度も、スポーツ施設やオフィス、病院等で、ロボットの導入に知見のある専門家の監修により、公開の実証実験およびプロモーションを行います。

ロボットの機能や効果を広く社会に発信し、ロボットの導入を目指すユーザー施設とのマッチング機会の創出に取り組みます。



実証実験支援コンサルティング

インキュビオン株式会社

ロボットと共有する体験をデザインする専門集団。サービスロボットの社会実装に向け、ロボットメーカー・ロボットユーザーを相互に結びつけ、ロボットを取り巻く環境づくりや制度設計、利用者のリテラシー向上に取り組んでいます。

TIS株式会社

RoboticBase（サービスロボット統合管理プラットフォーム）とマルチロボットインテグレーション、マルチロボットコンサルティングを組み合わせた包括的サービス「DX on RoboticBase」で、人とロボットが共働・共生する社会の実現を目指しています。

清掃・消毒

自律移動機能を備えたロボットが、無人で床の清掃や消毒液散布を行います。建物内を広範囲に移動することで、いつもクリーンな状態を保ちます。

搬送・配膳

荷物を載せたロボットが、自律移動や人の後ろを追従しながら移動することで、倉庫や工場などの運搬業務を少ない人数で行うことができます。

サイネージ

走行台車などにディスプレイを組み合わせたデジタルサイネージロボットは、施設内の人に必要な情報を映像や音声でアナウンスしたり、広告、宣伝、プロモーションなどにも活用されます。

案内・コミュニケーション

商業施設や病院等において、音声会話機能を備えたロボットが案内業務を行います。自律移動機能を備えることで、目的地まで先導することも可能です。

モビリティ

人を乗せて目的地まで自律移動するロボットによって、目的地まで合理的な経路で移動が可能となります。

その他

工業用のロボットアームの機能を転用したり、各種センサーやカメラを活用するなど、商業施設や家庭内で、これまで人が行ってきた負担の大きな作業や労働を代行・補助します。

リテールテックJAPAN2023に参加

2022年度ARX事業は、成果発表として「リテールテックJAPAN2023」に参加します。リテールテックJAPAN2023とは、国内最大の流通業向け情報システム総合展。2023年2月28日（火）から3月3日（金）までの4日間、東京ビッグサイトで開催されます。

参加ロボットの
詳細については
下記公式ウェブまたは
QRコードからご覧ください。



<https://aichirx.jp>

カテゴリー① サービスロボット実証実験

実証実験会場と開催期間

- 1 **アーバンネット名古屋ネクスタビル**
2023年1月～2月
- 2 **イオンモール常滑**
2023年2月
- 3 **豊田スタジアム**
2022年12月
- 4 **藤田医科大学病院**
2023年1月～2月



Mover UV-C (ムーバーユーブシー)

廣瀬無線電機株式会社

1

THK社製自律走行台車「SEED-Mover」とシグニファイジャパン社製「PHILIPS UV-C除菌トローリ」を組み合わせた自動除菌ロボットです。大規模スペースを無人環境下で自動走行し、紫外線で除菌。自動走行時の障害物回避機能や、人を検知すると照射を停止する機能などの安全性も備えており、コントローラーによる遠隔操作も可能です。手作業による除菌に比べて低コストで、拭き漏れや感染リスクの低減にも貢献します。



CLINABO (クリナボ)

日本信号株式会社

3

スクラパータイプの自動清掃ロボットです。床面をパッドやブラシで磨き、施設の美化に貢献します。安全センサーを多数搭載し、安全機能を強化することで、これまでのロボットの稼働に必要だったマッピング作業(実際に動きたいルートをロボットに走行させ、周囲の環境やルートを認識させる作業)を不要にした、おまかせ走行機能を持ったロボットです。



Aeolus Robot (アイオロス・ロボット)

丸文株式会社

1

あらかじめ施設を学習させることで自律移動し、全自動で仕事をこなすロボットです。こなす仕事も単一ではなく、紫外線を使用した局所除菌、広範囲除菌、巡視、警備、運搬など複数の仕事をを行います。両腕を使いエレベーターのボタンを押しての乗降、フロア移動、スライドドアの開閉もできます。今後も新機能を追加搭載し、未来へと近づけていきます。



iBones (アイ・ボーンズ)

ICD-LAB / 豊橋技術科学大学

3

※カテゴリー②の3にも参加
アルコールで手指消毒してくれるロボット「アイ・ボーンズ」は、モジモジ、ヨタヨタ、オドオド...。そんな振る舞いに、思わず手を差し伸べたくなる「弱いロボット」シリーズのひとつです。



エレベーター連携配送ロボット
AIM Robots NAOMI-2

エイム・テクノロジーズ株式会社

4

※カテゴリー②の2にも参加
タッチパネル操作で自動開閉する引き出し式の上下ボックスで2カ所への配送が可能です。背面には21インチのHD画質サイネージを装備し、イベントなどの宣伝も可能。また、台車の小型化と低重心化により小回りが効き、揺れの少ない安定した走行を実現しています。オプション装備を追加することで、自律でのエレベーター乗降も可能です。※エレベーターには別途アダプターとモジュールの取り付けが必要。



Cartken (カートケン)

三菱電機株式会社

2

米国シリコンバレー発の屋内外での走行が可能なデリバリーロボットです。搭載カメラで周辺状況を把握、画像処理技術を活用した、高度な自律走行性能と遠隔からの見守り機能を有しています。6輪を採用し、路面状況を問わず走破性が高く、段差も乗り越えられます。また、雨や夜間などの環境下でも走行できるので、様々なシーンでの活用が期待できます。



TCRB01 (ティーシーアールビーゼロイチ)

株式会社アイシン

2

※カテゴリー②の2にも参加
商業施設内外で動く商品自律配送ロボットです。施設内の歩行者と共存する安心感のある外観は、周囲の人々へのUXにも配慮しています。SLAMによる屋内外の自律走行により、テイクアウト弁当を飲食テナントから施設屋外の車寄せまで搬送。また、館内移動型のデジタルサイネージ機能を備えているため、配送業務を行いながら飲食店や他テナントへの集客も可能です。



Keenon Robot T5 Laser
(キーンオン ロボット ティーフাইブレザー)

Keenon Robotics株式会社

3 ※カテゴリ②の3にも参加
想像を超える完璧な配送を実現した配膳・配送ロボットです。40kgまで積載可能な4段トレイは、高さを調整することで様々なサイズの物を運ぶことができ、レストランオペレーション業務の効率化と接客時間や生産性の向上に貢献します。また、自社開発のSLAM(自己位置推定と環境地図作成の同時実行)とLiDARにより抜群の安定感と効率性を発揮します。複数台のロボット連携で業務効率を飛躍的に改善します。

AVACOM (アバコム)

総合警備保障株式会社

2 ※カテゴリ②の2にも参加
愛知県は2020年から転出超過に転じ、人口は年々減少していきます。ALSOKでは、警備ロボット「REBORG-Z」やドローン、AI監視カメラなどを活用した省人化対策に取り組んでいます。一方、今回提案するリモート接客サービス「AVACOM」は、国籍・居住地・性別・年齢に関係なく、誰もが働ける新しい働き方を生み出す可能性を秘めています。



Keenon Robot G2 Label
(キーンオン ロボット ジーツー ラベル)

Keenon Robotics株式会社

3 ※カテゴリ②の3にも参加
両手に大型両面スクリーンを搭載し、高画質な画面に表示された案内情報や動画広告により効果的な宣伝が可能です。また、お客様のお迎えや目的地までの案内機能もあり、革新的で楽しいお客様とのやり取りを演出します。高性能LiDARと3Dビジョン用の複数センサーにより、複雑な環境でも安定したガイダンスが行え、より印象的で個人的な体験をもたらします。画面の明るさと視覚効果による使いやすいUIも魅力です。



GAUSIUM Sweeper 111
(ガウシウム スーパー111)

クリーンスタジオ株式会社

2 3
屋内外問わず、ハードフロアやカーペット敷きでも使えるマルチスイーパーです。ホッパー(ゴミ箱)に重い物が溜まっても問題ありません。オートダンプ機能を標準搭載し、ゴミは自動で捨てます(捨てる場所には別途ゴミ箱などをご用意いただく必要あり)。100m LiDARを搭載していますが、より広い範囲を掃除する場合は、オプションで自己位置認識用のGPSを搭載することが可能です。



GAUSIUM Vacuum 40
(ガウシウム バキューム40)

クリーンスタジオ株式会社

2 3
ハード・カーペットフロア対応の小型バキュームロボットVacuum40は、タッチパネルで「現在地」と「掃除ルート」を設定するだけで操作は完了。後は自動的に選択されたルートを走行して清掃します。複数のセンサーが常に前後左右を監視し、小さな障害物や急な飛び出しを賢く回避します。また、オプションの「チャージングステーション」との組み合わせで、より長時間の清掃が可能です。



Signage Robot (サイネージロボット)

THK株式会社

1 3 4 ※カテゴリ②の2 3にも参加
自動移動台車「SEED-Mover」に両面ディスプレイを搭載した次世代広告ロボットです。全方向移動と360度旋回が可能なので、狭い場所でも自由に移動できます。その上部に取り付けられた2面ディスプレイは、マルチメディアコンテンツの視聴やテレビ電話による遠隔コミュニケーションが可能です。また、カメラによる視聴者属性分析機能など多彩な機能を搭載し、様々な用途で活用できます。

SEED Sign-Mover

(フロア案内ロボットSEED Sign-Mover)

THK株式会社

3 4 ※カテゴリ②の2 3にも参加
自律移動台車「SEED-Mover」に片面ディスプレイを搭載した次世代広告ロボットです。全方向移動・360度旋回が可能で、狭いスペースでも自在に移動できます。上部の40インチディスプレイは、マルチメディアコンテンツの視聴や専用テレビ電話ツールでアバターを使った遠隔コミュニケーションが可能です。また、お客様の目線に合わせて高さが調整できる「高さ調整機構」も備わっています。



カテゴリ② サービスロボットプロモーション

プロモーション会場と開催期間

2 **イオンモール常滑**
2023年2月24日(金)～25日(土)

3 **豊田スタジアム**
2022年12月17日(土)

GAUSIUM Scrubber 50
(ガウシウム スクラバー50)

クリーンスタジオ株式会社

2 3
Scrubber50は新たにAIカメラを搭載した清掃ロボットです。5台のカメラ(3D・2D)とLiDARセンサーで小さな障害物や飛び出しを回避します。また、汚れを見つけて対象を清掃する「巡回清掃」は、新しい清掃の仕組みとして期待される機能です。オプションの「チャージング」と「ワーキングステーション」を組み合わせることで、長時間の清掃とメンテナンス時間の短縮が可能です。



AIT-UV-C エアステライザーRT「ステリボット」

愛知工業大学 ロボット研究ミュージアム

3
ロボット内部に強力なUV-C紫外光を照射するランプを搭載し、空気循環により空気中のウィルスを不活性化します。AI技術を使い室内の人の位置を認識、人が集まって会話している場所を特定し、その場所まで自動で安全に移動できるなど、より高い清浄効果を発揮します。ロボットの前面にはモニター画面があり、アナウンスや広報などに活用できます。





AIM Robots AYUMI

(エイム・ロボット・アユミ)

エイム・テクノロジーズ株式会社

②

AIM ROBOTSシリーズの最新モデル「AYUMI」は、最大積載量50kg、高さ757mmの配送ボックスを搭載した大容量タイプ。従来機と同様に密閉が可能ですが、扉を両側から開閉できるため、操作がしやすくなっています。また、複数のポイントに自在に設定可能なあらゆる運用方法も加わり、ホテルやレストラン、宴会場をはじめ、病院に介護施設、工場などでの利用が期待されています。



Talbot (タルボット)

オンクラウス株式会社

②

ロボットプラットフォーム「RaaS」に対応した自律移動ロボットです。RaaSと通信しながら、殺菌・警備・搬送など、異なる種類のロボットが同じプラットフォーム上で連携。ロボットとプラットフォームが地図データやルートデータ、走行計画データなどを共有し、複数のロボットを最適に制御します。走行機構は優れた制御性能を有した新明工業製で、上部機構の変更で様々な機能のロボットの実現が可能です。



YOMIE M5 (優小妹M5)

株式会社エアアカザン

②

モバイルオーダー機能を追加実装した新しいロボット配送システムです。スマホで注文した商品をロボットが店外の所定場所まで届けます。複数店舗に対応し、オーダーに応じてロボットが連動することが大きな特徴です。ロボットはホテルやオフィスビルで活躍する「YOMIE M5」を採用。自己位置認識や障害物回避に優れ、ロック機能付きの収納ボックスで安全に食品を届けます。



配送・配膳ロボットα8号機

株式会社アルファックス・フード・システム

②

運搬・配膳以外の機能をもつ自律型搬送・配膳ロボットで、3~4枚のトレーに物品を載せて目的の場所まで運ぶことができます。また、飲食店では、料理の配膳だけでなく、下膳や店内呼び込み、店頭パフォーマンス、おすすめ紹介、ラストオーダーのお知らせ、席案内など、機能も充実しています。さらに、従来のロボットとは異なり、走行環境に合わせて速度を調整できるハイブリッド走行が可能です。



Moving digital signage robot

(動くデジタルサイネージロボット)

株式会社クレアール

②

PUDU Robotics (本社:中国)の移動サービスロボット「PuduBot2」に液晶モニターを搭載することで「モバイルサイネージ」を実現しました。ロボットに搭載された液晶ディスプレイのタッチパネル操作により、あらかじめ登録された場所への移動指示が行えます。また、従来の据置型デジタルサイネージに比べて、プッシュ型でより多くのお客様にコンテンツが配信できます。



Kebbi Air (ケビー エア)

名古屋国際工科大学

②

③

店舗や教育現場など様々なシーンに対応できるコミュニケーションロボットです。6つのアレイマイクと人感センサーにより、ロボットの前に人が来るとロボットが自ら話しかけるなどの多彩なコミュニケーション機能をはじめ、12個のサーボモーターによる滑らかな動きや、タッチセンサーによるインタラクティブな対応も魅力です。



ILY-Ai (アイリーエーアイ)

株式会社アイシン

②

「誰もが気軽に出かけられる社会の実現」をコンセプトにした小型電動モビリティです。現在、大型商業施設を中心に導入が進んでおり、快適で楽しい買い物をサポートしています。衝突防止安全機能をはじめ、親子で乗れる1.5人乗り、大容量の荷物入れ、ショッピングカートモードなどの機能を備え、子育て世代から高齢者まで幅広いお客様から好評を得ています。



Portable Dispensing System

(ポータブル自動分注システム)

GRIPS/ICOMESプロジェクト

②

可搬重量500g、繰り返し精度0.2mmの性能を有する3+1軸の卓上型ロボットアームです。工場内の軽作業の自動化や技術者の研修・教育用途などに幅広く対応。標準付属のエンドエフェクターだけでなく、用途に応じたエンドエフェクターの開発により、様々なワークへの対応が可能です。



COBOTTA Crepe project & serverobot

(COBOTTA クレーププロジェクト&サーバロボット)

愛知工業大学 ロボット研究ミュージアム

②

③

人協働ロボットCOBOTTAを活用してクレープの制作を行います。焼き工程とトッピング工程を2台のCOBOTTAで自動化し、省人化に対応できるように注文をタブレット端末から行うことが可能です。また、メンテナンスや材料の補填情報がアプリケーションで対応し、作ったクレープはAITサーバロボットが準備した座席まで自動的に運びます。



SOL (ソル)

新明工業株式会社

③

「21世紀、道路インフラ整備率は陸地面積に対しわずか1%程。従来モビリティでは活動エリアは限定的です。」
未来の生活空間を切り拓くため、名古屋大学、南山大学と共同でインフラに頼らないモビリティとして「6脚ロボットSOL」の研究開発を始めました。歩行技術確立のプラットフォームとして、SOL 1/8モデルを製作しました。

名古屋市 カテゴリ①

AICHI ROBOT TRANSFORMATION ①

NTTグループの総合力を活かした次世代型先進オフィスビル
アーバンネット名古屋ネクスタビル

2023年1月～2月



愛知県名古屋市東区東桜1-1-1
<https://www.nttud.co.jp/nexta>

実証実験の内容

- 広告を掲載したサイネージロボットを運用し、視聴者の属性分析（性別・年齢層）によるターゲティング広告の実施。
- 夜間などに大規模スペースを自動で除菌する実証実験。



©Forward Stroke inc.



井出 誠人氏

NTTアーバンバリューサポート株式会社
東海事業部

2022年1月に竣工したアーバンネット名古屋ネクスタビルでは、開発コンセプトである「タスクやコミュニケーションを時間と空間の制約から解放し、新たな発見と創造を生み出す場」の実現に向け、最新のICTツールを積極的に導入しています。そのひとつとして、本物件では警備ロボットや清掃ロボットがエレベーターを利用して自律移動することで、人とロボットの協働によるサービスレベルの向上と業務の効率化を図っています。

ARXを通じて、ロボットベンダーの皆様との連携を強め、サービスロボットの社会実装推進に貢献していくとともに、本物件を利用する皆様と一緒に成長していく街づくり、施設運営を目指していきたいと思ひます。

常滑市 カテゴリ① カテゴリ②

AICHI ROBOT TRANSFORMATION ②

海と空を120%楽しむエンターテインメントパーク
イオンモール常滑

2023年2月



愛知県常滑市りんくう町2-20-3
<https://tokoname-aeonmall.com/>

実証実験の内容

- 搬送ロボットによる飲食店テイクアウト商品の「ドライブピックアップ」の実証実験。
- アバターコンシェルジュによる館内インフォメーション。



田中 裕之氏

CX創造本部 愛知事業部
イオンモール常滑ゼネラルマネージャー

当モールは、知多半島西岸の都市「常滑市」の中央部、対岸に中部国際空港を臨む「中部臨空都市」内のショッピングモールです。常滑焼をはじめとする文化・産業といった常滑市の伝統ある資源や、中部国際空港を核とした国際的な要素など、当地が持つ魅力の更なる向上の一助となるよう、2015年の開業以来、地域とともに「暮らしの未来」をつくるショッピングモールを目指しています。

愛知県が目指す「人とロボットの協働する未来づくり」に参画することで、お客様のライフステージに合わせた新しい価値を創造する事業の開拓をはじめ、デジタル技術やデータを活用した地域やパートナーと共創、新たなビジネスモデルの創出や次世代に対応するオペレーションシステムの構築など、本事業を通じてDXの推進を行いたいと考えています。

豊田市

カテゴリ①

カテゴリ②

AICHI ROBOT TRANSFORMATION ③

4万4千人を迎え入れる爽快空間
豊田スタジアム

2022年12月



愛知県豊田市千石町7-2
<https://www.toyota-stadium.co.jp/>

実証実験の内容

- ファンサービスとして、アバターロボットを使った選手との交流。
- 広告を掲載したサイネージロボットを運用し、視聴者の属性分析（性別・年齢層）によるターゲティング広告の実施。
- ロボットでの手指消毒。
- 清掃ロボットによる清掃。



都築 保裕氏

豊田市生涯活躍部スポーツ振興課 課長

豊田スタジアムは、サッカーやラグビーなどの大規模スポーツイベントを多く開催しています。昨年度は、名古屋グランパスJリーグ公式戦において、施設案内や清掃・消毒、警備ロボット等の実証実験を行っていただきましたが、来場者・施設管理者ともに好評でした。

今年度も多くの来場が見込まれるイベントなどで実証実験を行う機会をいただきました。本実証を通して、愛知県のロボット産業や技術が実用化に向け進展するとともに、豊田スタジアムの今後のサービス向上につながることを期待しています。

豊明市

カテゴリ①

AICHI ROBOT TRANSFORMATION ④

医療現場をサポートするロボットの実証実験を実施
藤田医科大学病院

2023年1月～2月



愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98
<https://hospital.fujita-hu.ac.jp/>

実証実験の内容

- エレベーターと連携し、院内売店や自動販売機でスマートフォンで注文した品物を病室周辺の休憩所まで運搬する実証実験。
- AI画像センサーによる転倒検知アルゴリズムおよび院内転倒対策の実証実験。



大高 洋平氏

藤田医科大学
医学部リハビリテーション医学I講座 教授
ロボティクススマートホーム・
活動支援機器研究実証センター長

国内最大規模の病床数を有する本大学病院では、広大な施設の各所で行われる様々なバックヤード業務が、安定した医療サービスの提供を支えています。

これらの現場オペレーションにロボット機器を導入すると同時に業務プロセスを最適化することで、更なる経営資源の効率化や優れた医療の提供が可能になると期待されます。また、移動支援ロボットによる人や物の搬送、テレプレゼンスロボットによる遠隔面会などの活用は、患者さんの満足度向上に寄与するものと考えています。

本事業における様々な機器の実証を通して、今後の活用に向けた具体的な検証が行えることを期待しています。

愛知県はロボットの開発・実用化を支援しています

あいちロボット産業クラスター推進協議会

ロボット産業を、自動車、航空宇宙に続く、愛知の第3の産業の柱として大きく育てていくことを目指し、2014年に当協議会を設立しました。

3分野のワーキンググループ等の取り組みを通じて、ロボットの開発側と利用側の連携による新たな技術・製品の創出や、ロボットの導入の促進に取り組んでいます。

一会員数:545企業・団体(2022年10月末現在)



製造・物流等分野
ロボット導入実証
ワーキンググループ



医療・介護等分野
ロボット実用化
ワーキンググループ



無人飛行ロボット
活用
ワーキンググループ



あいちサービスロボット 実用化支援センター

国立長寿医療研究センター等と連携し、ロボット開発に関する相談対応やロボット展示、介護施設や企業とのマッチング等の支援を行っています。



介護・リハビリ支援ロボット 活用促進事業

介護・リハビリ支援ロボットの開発側と利用側の双方に対応する窓口を設置。専任コーディネーターによる助言を行うとともに、開発側ニーズ/利用側ニーズのマッチングを支援しています。



新あいち創造研究開発補助金

ロボットをはじめとする、今後の成長が見込まれる分野において、企業が行う研究開発・実証実験を支援しています。

補助
限度額

中小企業 **1億円**以下
大企業 **2億円**以下

補助率

中小企業 **2/3**以内
大企業 **1/2**以内

INFORMATION

SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE

2024年3月、Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)において、ヨーロッパ最大級の総合的な産業展示会「グローバル・インダストリー」の日本版である「SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE」が初開催されます。

「Moving towards the future～未来の移動～」をテーマに、AI、IoT、ロボット等のスマートマニュファクチャリングやスタートアップに関する展示やカンファレンスが行われます。

出展者数は250社を予定しており、うち半数はヨーロッパを始めとする海外企業が出展、国内外から多数の来場者も見込まれます。

本展示会は、日本とヨーロッパをつなぐ日本初の製造業向け産業展示会として、海外企業とのビジネスマッチングの機会やイノベーションを創出することができるイベントです。

現在、主催者事務局にて出展者募集中、第一次出展者募集締切は2023年10月です。



- 主催: GL events Venues
- 共催: 株式会社新東通信
- 協力: 愛知県*
- 会期: 2024年3月13日(水)～3月15日(金)
- 会場: Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)
- 公式ウェブサイト

<https://www.smart-manufacturing-summit-gi.com/jp/>

*愛知県とGL eventsは新たな産業展示会の立ち上げに関する覚書を締結しています。

▶ 詳細はこちら



主催 愛知県

問い合わせ先 ARX(AICHI ROBOT TRANSFORMATION) 推進事業事務局 Eメール office@aichirx.jp

事業全般の
問い合わせ先 愛知県経済産業局産業部産業振興課次世代産業室ロボット産業グループ
TEL:052-954-6352
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号(愛知県庁本庁舎1階)

▶ 公式サイトはこちら
<https://aichirx.jp>

